

令和4年度 新人戦 1 支部大会

第3位

第1号 | 2022.12.7 | 大崎 SPARTANS 通信



悔しい敗戦…準決勝 VS 日本体育大学荏原

課題が残ったものの、選手の奮闘は立派であった

序盤から、とにかく得点の入らない展開。シュートで終われず、「ミス」で終わる。相手のプレスにハマってしまう。それでも、こちらの粘り強いディフェンスで我慢はするものの、「シュートで終われない」展開。1Q が終わって、6-5 というロースコア。2Q も同様の展開。シュートで終われないのが一番の課題であった。18-24 と 6 点のビハインドで前半を折り返す。

「シュートで終わる」

後半は、これをテーマに怒涛のラッシュからスタートする。開始 2 分で一気に 7-0 のランで逆転。その後もテンポよくシュートを放ち、3Q 残り 1 分までで、40-30 と 10 点リードの状態。しかし、ここでミスを連発し 50 秒で 7 点入れられてしまう。40-37。どうも流れに乗れない展開、良いディフェンスをしてもミス…リードしていても、なぜか焦りがある。結果的に逆転を許し、そのまま相手の背中を見たまま終了…53-60 で惜敗。

2 回戦 VS 品川翔英 WIN

76-37 で勝利。相手は人数は少ないものの統率の取れたディフェンスの好チーム。苦戦しながらも勝利

3 回戦 VS 都三田 WIN

104-48 で勝利。本校の良さが出的素晴らしいゲーム。ただ、ディフェンスに若干の課題が残った。

4 回戦 VS 青稜 WIN

77-39 で勝利。4 年連続の本大会出場を決めた。序盤から選手たちはゲームプラン通り進めた。素晴らしい奮闘であった。

ストーリーに関する宣伝を 4 ページ目に表示します。

5回戦(準々決勝) VS 世田谷学園 WIN

84-50で勝利。今大会第2シードである世田谷学園との対戦。序盤から、相手のリズムを崩し、自分たちのペースに持ち込むためにディフェンスで奮闘する。前半を38-19で折り返す。3Qは世田谷学園もペースを掴み始め、なかなか15点差から20点差を行き来する展開、しかし残り3分から一気に突き放し、64-38で勝負あり。選手たちの「遂行力」には、脱帽でした。



新人戦支部大会の総括 ～3位入賞～

今大会、優勝を目指し臨んだ新人戦支部大会でした。新チーム発足から、「ハードワーク」をテーマに、ディフェンス・リバウンドを中心に練習してきました。1・2年生で41名の部員数で、体育館にも制約がある中で、個々の自主練習が身を結果、結んだ3位入賞が出来たと思います。また、映像を通してバスケの原理原則を学び、「頭で理解するバスケ」を徐々に身につけ表現できるようになってきました。彼らの吸収力は凄まじく、本大会までにさらにパワーアップしてくれると確信しています！



今後の予定

①令和5年 1月8日
新人戦本大会 2回戦
VS 東海大菅生

②令和5年 1月24日
体育館改修工事終了

③令和5年 2月11日
支部選抜対抗戦
※本校より2名選出

